

平成 30 年度授業アンケートについて

教育検証部会部会長 小澤 正吾

平成 25 年度より授業改善のための授業アンケートを薬学部独自に実施している。問 1～15 の設問について、5 点を最良として学生が評価し、良かった点と改善してほしい点についても記述する。その結果は教務課が取りまとめ、講義担当者にフィードバックするとともに、講義担当者は授業アンケート報告書として、どのような点が良かったか、今後どう改善するかを報告し、全教員がその情報を共有できる体制をとっている。また、平成 28 年度から、基礎系実習科目については実習に即した設問に改訂し、授業アンケートを開始した。当初、2 学年学実習 1、および 3 学年薬学実習 2 で Web ツールであるアイアシスタントを用いた授業アンケートを実施したが、回収率が良くなかったので、実習期間中に実施することとした。

1) 講義科目授業アンケート

平成 30 年度は、2 学年から 6 学年までの 89 の講義科目について授業アンケートを実施した。その全体の結果を次ページに示すが、6 年次の評価は少し低くなっているものの、全体的には授業に対する満足度（設問 15）が 3.84 であり、各設問の全体平均も 3.76～3.97 と概ね順調に授業が行われているものと考えられる。担当者 3 名以内の科目（62 科目）では、設問全体平均の最高が 4.42（2 学年 有機薬化学 1（炭素-炭素多重結合の化学））で、講義担当者が 4 人以上の講義の各科目（22 科目）の全体平均は 3.31→4.05 であり、こちらも概ね順調に授業が行われていると判断される。

2) 実習科目授業アンケート

3 学年の看護体験実習、4 学年の薬学実習 3 と実務基礎実習については、講義科目授業アンケートと同じ設問のマークシートでアンケートを実施した。いずれの科目も全体平均で 4.00 前後の評価が得られており、実務系の実習に学生が意欲的に取り組んでいる様子が窺える。

2 年次薬学実習 1 および 3 年次薬学実習 2 の基礎系実習科目では、設問を実習に即したものに變更し、マークシートを用いて、各担当分野の実習終了時にアンケートを実施した。

4 月の第 1 回教員総会で評価の高かった科目担当者を毎年表彰しており、平成 30 年度は、2 学年 有機薬化学 1（炭素-炭素多重結合の化学）（河野教授）、2 学年 保健衛生学（杉山晶規准教授）、4 学年 実践医薬化学（河野教授）と 1 学年 薬化学入門（河野教授）が表彰された。

【実施科目一覧】

◆授業アンケート 実施科目

1) 必修科目

学年	科目名			科目数(89)
2学年	機能形態学1	微生物学	細胞生物学	30
	機能形態学2	物理化学1(分子の性質と電磁波)	食品栄養学	
	薬学英語1	分析化学1	生化学2(エネルギー代謝)	
	生化学1(タンパク質科学)	天然物化学1	有機薬化学1(炭素-炭素多重結合の化学)	
	解剖学	ゲノムサイエンス	創剤学1	
	分析化学2	感染症学	免疫生物学1	
	基礎総合講義2	環境衛生学	有機薬化学2(炭素-ヘテロ原子単結合の化学)	
	薬理学1・2(総論、自律神経系・消化器系・循環器系・代謝系・感覚器系・血液系の薬理)	有機構造解析1	食品衛生学	
	物理化学2(物質のエネルギーと均衡)	薬学英語2	薬物動態学1	
基礎総合講義1	分析化学計算演習	早期臨床体験		
3学年	医療薬学1(消化器・呼吸器疾患の病態と治療)	創剤学2	免疫生物学2	32
	化学療法学1	臨床分析化学	保健衛生学	
	天然物化学2(生薬と漢方薬)	有機薬化学3(炭素-ヘテロ原子多重結合の化学)	放射化学	
	薬理学3(免疫系・内分泌系・泌尿器系・呼吸器系の薬理、医療品安全性)	内分泌・代謝疾患と薬剤治療	物理化学3(平衡と反応速度論)	
	薬物動態解析1	ゲノムサイエンス	薬事関係法規・制度1	
	応用生体防御学	看護体験実習	薬理学4(中枢神経系の薬理と神経科学)	
	化学療法学2	薬学英語3	薬物送達学	
	薬物動態学2	薬物動態解析2	構造生物学	
	循環器疾患と薬剤治療	医療薬学2(代謝・皮膚・感覚器疾患の病態と治療)	生体制御化学	
有機構造解析2	調剤学	薬理学5(自律神経系・体性神経系に作用する薬物)		
毒性学	医薬安全性学			
4学年	臨床薬学1	日本薬局方概論	薬事関係法規・制度2	20
	医療統計学	医薬情報科学	医療薬学4(循環器・中枢神経疾患の病態と治療)	
	症例・処方解析学	臨床薬学2	遺伝子細胞工学	
	医療薬学3(血液・内分泌・生殖器疾患の病態と治療)	実践医薬化学	天然物化学3	
	医療倫理とヒューマニズム	薬学生の将来 多様なキャリアと他職種連携	実践衛生薬学	
	臨床医学概論	総合薬物治療演習	薬学実習3(症例解析学実習)	
	薬学実習3(処方解析学実習)	薬学実習3(フィジカルアセスメント実習)		
5学年	治療戦略概論	医薬品情報セミナー	薬学基礎セミナー	3
6学年	実践地域包括ケア概論	臨床薬学総合演習	総合演習	4
	総合講義			

教員数: ~3人

教員数: 4人~

実習科目

※2学年「早期臨床体験」、3学年「看護体験実習」、4学年「薬学実習3」の4科目は授業アンケート用紙で実施し、集計は以下の実習アンケートに加えて行った。

※当初予定外のため、アンケート実施時期が遅れた科目を含む。

2) 自由科目

学年	科目名			科目数(7)
自由科目	薬学研究入門	遺伝子導入技術を学ぶ	自分をかえる脳科学	7
	放射科学実習	アンチドーピング	薬離学	
	実践チーム医療論			

※当初予定外のため、アンケート実施時期が遅れた科目を含む。

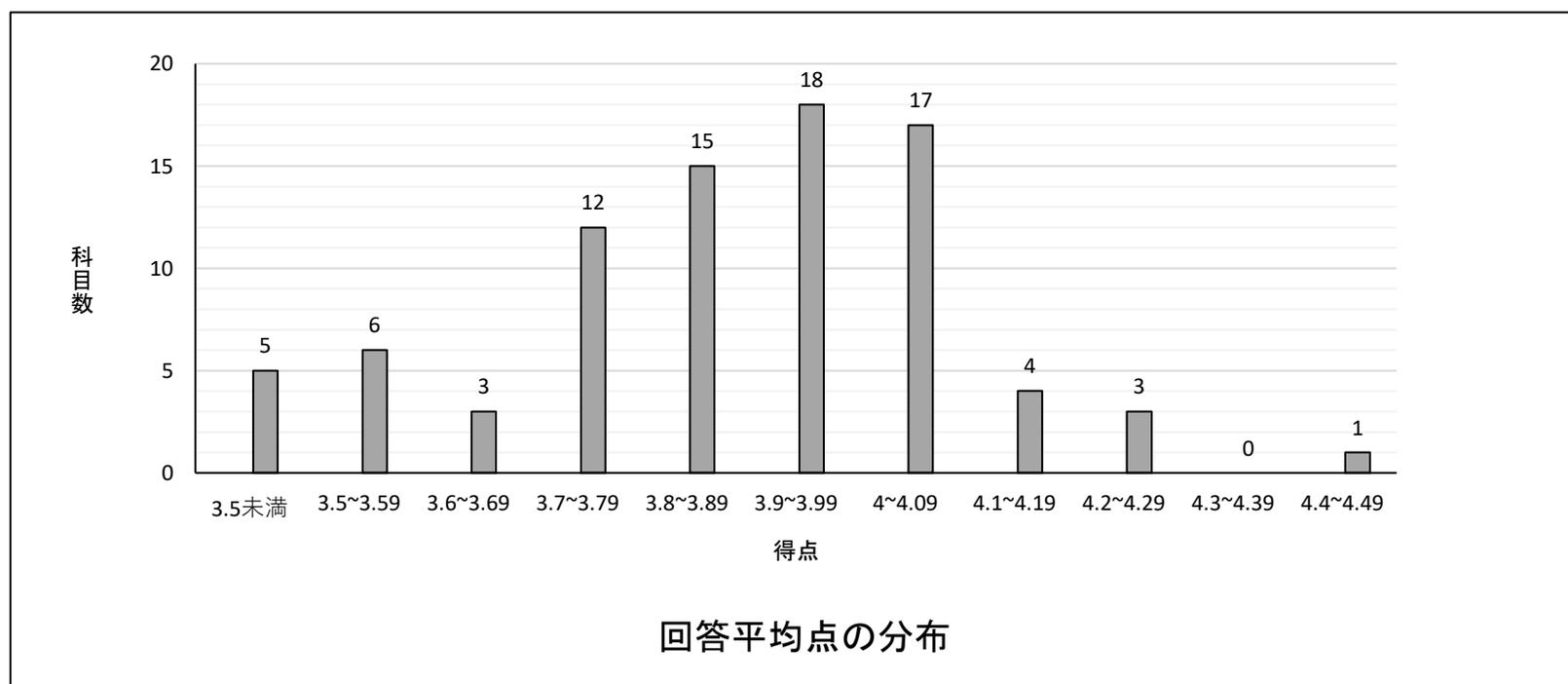
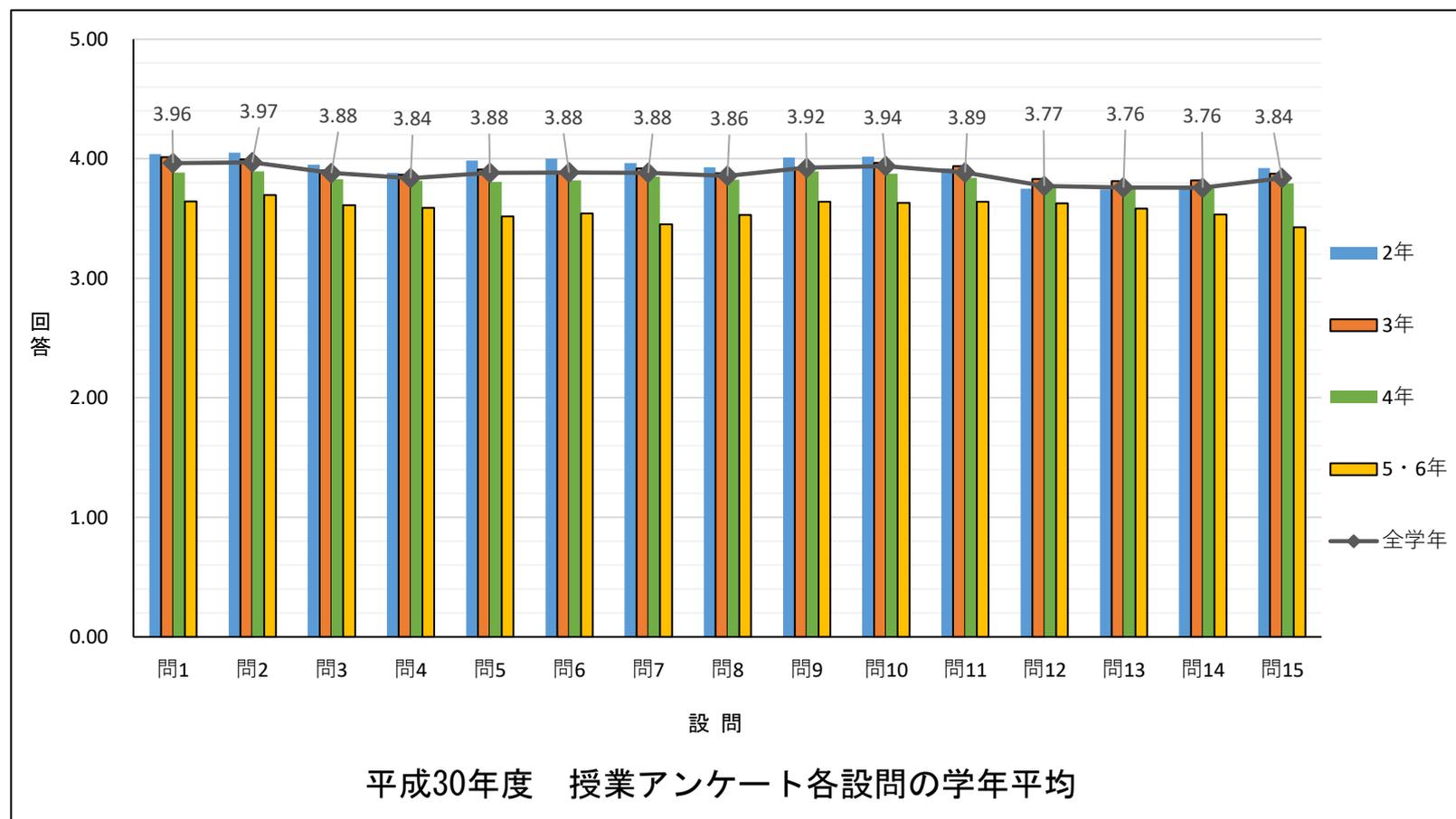
◆実習アンケート 実施科目

学年	科目名			科目数(14)
2学年	薬学実習1(組織学)	薬学実習1(生化学実習)	薬学実習1(分析化学実習)	4
	薬学実習1(微生物学実習)			
3学年	薬学実習2(物理化学実習)	薬学実習2(天然物化学実習)	薬学実習2(分析化学実習)	9
	薬学実習2(有機薬化学実習)	薬学実習2(神経科学実習)	薬学実習2(衛生化学実習)	
	薬学実習2(創剤学実習)	薬学実習2(薬理学実習)	薬学実習2(薬物代謝学実習)	
4学年	実務基礎実習			1

平成30年度 授業アンケート各設問の学年平均

【設問内容】	全学年	2年	3年	4年	5・6年
問1 シラバスは授業の目標、内容、評価方法を分かりやすく示していましたか。	3.96	4.04	4.01	3.88	3.64
問2 授業はシラバスに沿って行われていましたか。	3.97	4.05	3.99	3.89	3.70
問3 授業の内容は興味や関心が持てるものでしたか。	3.88	3.95	3.90	3.83	3.61
問4 授業の内容は理解できるものでしたか。	3.84	3.88	3.86	3.82	3.59
問5 配付資料、教科書などの教材は適切でしたか。	3.88	3.99	3.91	3.81	3.52
問6 板書やパワーポイントなどは適切でしたか。	3.88	4.00	3.89	3.82	3.54
問7 時間配分など、授業の進め方は適切でしたか。	3.88	3.96	3.92	3.85	3.45
問8 教員の説明は分かりやすかったですか。	3.86	3.93	3.88	3.83	3.53
問9 教員の話し方(言葉や声の調子など)は適切でしたか。	3.92	4.01	3.92	3.89	3.64
問10 教員の熱意が伝わってきましたか。	3.94	4.02	3.97	3.87	3.63
問11 教員は効果的に学生の参加(発言、自主的学習、作業など)を促しましたか。	3.89	3.92	3.94	3.84	3.64
問12 あなたは、質問、発言、自習などにより、この授業に積極的に取り組みましたか。	3.77	3.75	3.83	3.76	3.63
問13 あなたは、授業に対して予習と復習を積極的に行いましたか。	3.76	3.74	3.81	3.75	3.58
問14 あなたは、シラバスの目的を達成できたと思いますか。	3.76	3.75	3.82	3.76	3.53
問15 この授業は全体として満足できるものでしたか。	3.84	3.92	3.88	3.79	3.43

※5・6年生は実施科目数が少ないため統合して集計



総合評価 上位3科目一覧

講義担当教員 3名以内

学年	科目名	所属	教員名	平均点	平均点（3名以内全科目）
2	有機薬化学1(炭素-炭素多重結合の化学)	創薬有機化学分野	河野 富一 教授	4.42	3.92
3	保健衛生学	衛生化学分野	杉山 晶規 准教授	4.25	
		非常勤講師	-		
4	実践医薬化学	創薬有機化学分野	河野 富一 教授	4.22	

講義担当教員 4名以上

学年	科目名	所属	教員名	平均点	平均点（4名以上全科目）
4	実践衛生薬学	衛生化学分野	杉山 晶規 准教授	4.05	3.72
		衛生化学分野	川崎 靖 助教		
		薬剤治療学分野	三部 篤 教授		
		薬剤治療学分野	手塚 優 助教		
		学内教員	-		
		非常勤講師	-		
4	臨床薬学1	臨床薬剤学分野	工藤 賢三 教授	3.92	
		臨床薬剤学分野	富田 隆 准教授		
		臨床薬剤学分野	千葉 健史 助教		
		臨床薬剤学分野	平松 寛彦 助教		
3	応用生体防御学	生体防御学分野	大橋 綾子 教授	3.9	
		生体防御学分野	白石 博久 准教授		
		生体防御学分野	丹治 貴博 助教		
		生体防御学分野	錦織 健児 助教		